

校長室より

第99号

「天空高き」



平成29年8月29日

## 変化に対応できる力ー I can do it. ー

「もっとも強い者が生き残ったわけではない。もっとも賢い者が生き残ったわけではない。もっとも変化に対応できる者が生き残ったのだ」

皆さんも聞いたことがあるかもしれません。上記の言葉は、イギリスの進化論者、チャールズ・ダーウィンの言葉だと言われています。

夏休み前の教職員研修会で講師の方が、中・高校時代は「社会の変化に対応できる力」を身に付ける必要があると言われました。

現代私たちは、急激に変化し予測のつかない先行き不透明な時代にいるからこそ、講師の方は強調されたのだと思います。地球的規模の環境やエネルギー問題、人工知能(AI)やIoTなどの急速な発達に、私たちの対応能力がついていけないからでしょう。しかしながら、私たちは前を向いて進むしかありません。行動することです。その場に合わせて判断し、柔軟に変化し続けることです。



今私たちが抱えている問題や課題はたくさんあります。それら一つ一つの問題や課題に対しての答えは一つではありません。価値観や考え方が異なれば、自分が考えている答えと真反対の答えが出てくる可能性があります。大事なことは、自分が出した答えに対して自分がどういう価値判断で下したかだ、と思います。問われているのは、自分だったらという、自分軸ではないでしょうか。

正解が一つではないということは、様々な考え方が正解として認められ得るわけですから、どのような答えを出しても間違いではありません。大切なことは自分が出した答えの背景に確かな価値観があることをアピールし、多くの賛同者が得られることではないでしょうか。

I can do it! 私ならやれる、できる! 私たちにできることは、目標や夢、希望を持

続けることは時に苦痛を伴うが、諦めなければ確実に前に進む

って一日一日を一生懸命に生きることです。そして、変化に対応しながら、したたかに生き抜くことです。

長い夏休みが終わりました。2学期は運動会に始まり、楽学祭へと大きな行事が続きます。その中で3年生の皆さんは就職試験、入学試験が待ち構えています。日々、悪戦苦闘しながら、今を前向きに全力で生きること、行事を達成し皆さんの夢や目標を実現してもらいたいと思います。

「その一言」

高橋系吾

その一言で励まされ その一言で夢をもち  
その一言で腹がたち その一言でがっかりし その一言で泣かされる  
ほんのわずかな一言が 不思議に大きな力をもつ ほんのちょっとの一言で

## ひき逃げ？—自転車で事故を起こしたとき—

### 自転車安全利用五則

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る  
○飲酒運転・二人乗り・並進の禁止  
○夜間はライトを点灯  
○交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
5. 子どもはヘルメットを着用

岩国警察署に自動車の免許更新に行きました。その時に講習会があり、交通事故を起こしたときの措置について説明がありました。

- ① 危険防止等の措置をとる。(安全な場所に移動)
- ② 負傷者を救護する～119番
- ③ 事故の発生を警察官に告げる～110番

上記の3つの措置を取らないと、**自転車でも「ひき逃げ犯」になる**と言われました。

確かに、道路交通法では、自転車は車両の一種である「軽車両」です。当然、自転車の事故も犯罪になるので、最大限注意を払う必要があります。

道路交通法第72条第1項前段に対する罰則-**緊急措置義務**に、「交通事故があったときは、当該交通事故に係る車両等の運転者その他の乗務員

(以下この節において「運転者等」という。)は、直ちに車両等の運転を停止して、負傷者を救護し、道路における危険を防止する等必要な措置を講じなければならない」とあり、上記義務に違反するといわゆる「ひき逃げ犯」となってしまいます。

万が一、自転車の走行中に事故を起こした時には、皆さんは上記の3つの措置を取らなければなりません。これらを怠ると、「ひき逃げ」という犯罪になります。

近年、自転車による重大事故が増えています。

警察庁が公表している統計資料「平成28年中の交通事故の発生状況」によると、自転車関連事故数は98,700件(交通事故件数全体の18.4%)であり、自転車関連死亡事故は509件(全体の13.0%)です。自転車同士による事故死が5件、自転車と歩行者による事故死が2件発生しています。

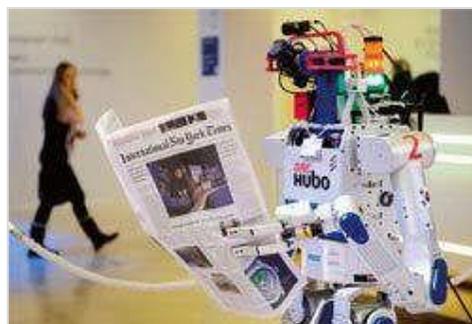
我々は日常生活において、自転車は移動に便利なので、気軽によく使用しますが、細心の注意を払って運転する必要があります。スマホやケータイを使用しながらとか、耳にイヤホンを入れて音楽を聴きながら、などの「ながら運転」は絶対にしないでください。事故は一瞬です。怪我や後悔、償いは一生しなければならなくなります。普段から、当たり前前を当たり前前に続けることを大事にしてください。

## 2045年問題？—AI(人工知能)の未来は？—

2045年問題というのがあります。皆さんは知っていますか？

コンピュータ、AI(人工知能)が人類の能力を上回るという技術特異点(シンギュラリティ)が2045年に来ると予測されています。

AIは果たして人間の知を超えるのでしょうか。2010年にアメリカで「ディープラーニング(深層学習)」という革新的な技術が開発されました。この技術は、AIに「眼が誕生した」と思えばわかりやすいと思います。眼を獲得したAIは、今まで人間の眼がなければできなかった仕事が一気にできるようになるそうです。



「新聞を読むロボット」©AFP=時事

私は理科教員ですので、いまからおよそ5億4千年前から5億3千万年前の間に、いま生きているすべての生物種が一斉に現れた「カンブリア爆発」を連想します。「カンブリア爆発」が起こったきっかけの一つに、生物に眼が誕生して、生物の生存戦略が多様化したからだ、と言われています。

眼を獲得したAIは、車を含め、農業や医療、介護、調理など、これまで人が眼を使って行ってきた作業がAIで自動化されることになれば、相当大きな社会変化が起こることは確かでしょう。人間は単純作業でヒューマンエラーをしていますが、AIなら確実に間違いなく行うことができます。AIによって私たちの働き方や暮らしが一変します。AIのマイナス面ではなく、プラス面に目を向けて、それを私たちの社会や生活にどう生かすかがとても大事になります。AIが発達すればするほど、私たち一人ひとりの人間性を磨く努力もさらに求められると思います。21世紀を希望にあふれ、明るい未来に創るのは、あなたたちです。

## 「幸せ」とは 一人間の一生に与えられるもの

世界の人口は、約74億人。年に137人、日で20万人、年で7千万人、増えています。世界中で、年に6千万人が亡くなり、1億3千万人が産まれます。(米国情勢調査局と国連データからの推計)

貧富の拡大、温暖化など問題が山積です。石油の枯渇が近づき、表土と森が失われています。水と食料が、病院と学校が不足しています。人の生活が、太陽と地球からの恵みを、超えそうです。今我々に求められているのは、独り占めでなく、分かち合って、共に生きることかもしれません。

.....私はアフリカをかなりよく知るようになってから、人間の一生に与えられるものに関して、ずいぶん謙虚になりました。

一生の間に、ともかく雨露を凌ぐ家に住んで、毎日食べるものがあつた、という生活ができたのなら、その人の人生は基本的に「成功」だと思います。

もしその家に風呂やトイレがあり、健康を害するほどの暑さや寒さからも守られ、毎日乾いた布団に寝られて、ボロでもない衣服を身につけて暮らすことができ、毎日、おいしい食事をとり、戦乱に巻き込まれず、病気の時には医療を受けられるような生活ができたなら、その人の人生は地球レベルでも「かなり幸運」です。

もしその人が、自分の好きな勉強をし、社会の一部に組み込まれて働き、愛も知り、人生の一部を選ぶことができ、自由に旅行し、好きな読書をし、趣味に生きる面も許され、家族や友達から信頼や尊敬、好意を受けたなら、もうそれだけで、その人の人生は文句なしに、「大成功」だった、と言えます。.....

「老いの才覚」曾根綾子

## 24節気

【立秋】りっしゅう：8月7日頃

厳しい残暑は続きますが、この日から暦の上では秋となります。これからは少しずつ涼しくなり、秋の気配が漂いだす頃です。また、立秋を過ぎたら「暑中見舞い」は「残暑見舞い」に変わります。

【処暑】しよしよ：8月23日頃

暑さがおさまるという意味で、日中は暑いものの、朝晩の涼しさに初秋の息遣いを感じる頃です。夏休みもそろそろ終わり。秋の台風シーズンに入っていきます。

「暮らし歳時記」より

